

タカサニュース5月号

平成 22 年 5 月発行 第 153 号 (株)タカサ

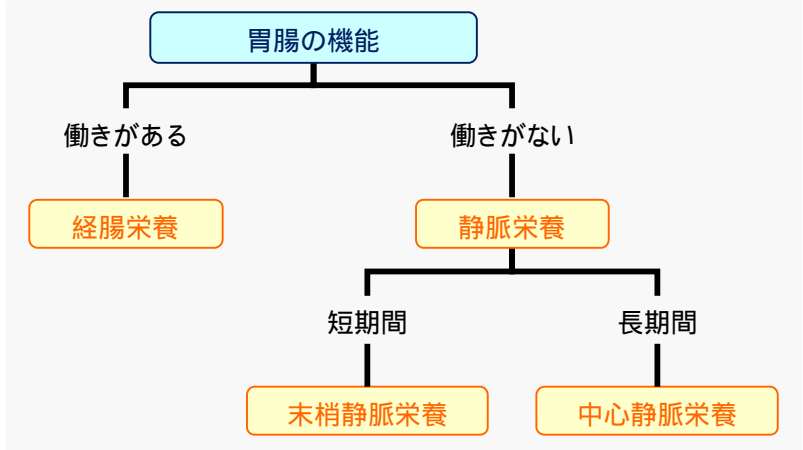
ご自宅でもできる栄養管理

患者さまの病気や症状により口から十分に食事が摂れなくなった（飲み込みが困難になった）場合、“栄養療法”という方法を用いることで栄養を摂取できるようになります。この方法は、以前は入院中の方が対象でしたが、現在は医師の管理の下、ご自宅でも可能になりました。



栄養療法は胃や腸などの消化管の働きがあるかどうかによって大きく2通りに分けられます。働きがある場合は胃や腸から栄養を補給し、働きがない場合は血管から栄養を補給します。（右図参照）

今回は栄養療法の中から、ご自宅でも管理することができる“在宅経腸栄養”と“在宅中心静脈栄養”を簡単にご紹介します。



在宅経腸栄養

HEN (Home Enteral Nutrition)

鼻からチューブを通して胃や腸まで挿入する方法と、直接お腹に小さな穴をあけてチューブを挿入する方法があります。（胃ろう・腸ろう）

消化管を利用するので生理的な方法であり、また消化機能の状態によって栄養剤の種類を使い分けるため、消化管の機能を保つことができます。

在宅中心静脈栄養

HPN (Home Parenteral Nutrition)

心臓に近い太い血管（中心静脈）を通して栄養を補給します。

必要な栄養素が含まれた高カロリー輸液を使用するため、消化管の機能が低下していても十分な栄養を摂取する事ができます。

体力が回復した後に、噛むことや飲み込みのリハビリを行い、再び口から食事を摂ることも可能です。

今月の
おすすめ

Otsuka 大塚食品
ReSOLA
からだの内側から無理なく
自然にキレイになろう

当薬局に
お問い合わせ下さい。

雑穀

売価138円

タカサグループ

私たちはお客様一人ひとりの心のオアシスでありたいと願っています。
処方せん調剤（全国の病院・医院の処方せんを受け付けます。）
介護用品の販売・レンタル、入浴サービス、介護計画の作成
<http://www.takasa.co.jp>